

No.	026	—	1001	事務事業名	中央図書館管理運営事業	細事務事業名		公的関与	6				
PLAN	課名	図書館	係名	図書館係	電話番号	089-964-3414	メールアドレス	tosyo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 生涯学習社会の確立		主要施策	(2)生涯学習関連施設の整備充実・機能強化				
	事業の対象	市民他				根拠法令	図書館法・東温市図書館条例						
	事業の目的	最終的	市民一人ひとりが生涯を通じて学びあい、自己を高め、充実した人生を送るとともにその成果がまちづくりに生かせるよう図書館施設・資料の充実を図ります。			今年度	貸出利用者の増加に努めます。						
	活動内容	①	資料(情報)の提供			④	天文観測室の運営管理						
		②	資料(情報)の収集・保存・管理			⑤	中央図書館・移動図書館・川内分館の維持管理						
		③	図書館協議会の運営										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		図書館登録率	登録者数÷人口×100		%	目標	45	45	48	70			
				実績	45	47							
蔵書回転率		貸出冊数÷蔵書数×100		%	目標	140	140	140	200				
					実績	141	141						
住民一人当たり図書貸出数		貸出冊数÷人口		冊	目標	7	7	7	10				
				実績	6	6							
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費	平成 22 年度決算		平成 23 年度決算		平成 24 年度予算		備考					
		国・県支出金	0千円		0千円		0千円						
		地方債	0千円		0千円		0千円						
		その他特定財源	106千円		9,090千円		312千円						
		一般財源	23,844千円		34,386千円		40,240千円						
		計(A)	23,950千円		43,476千円		40,552千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	2.000人	15,076千円	1.969人	11,891千円	1.969人	11,910千円					
		臨時職員工数・経費	4.000人	6,808千円	4.450人	8,099千円	4.450人	8,339千円					
	全体事業費(A+B)		45,834千円		63,466千円		60,802千円						
一次評価者	図書館係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	図書館法に基づく生涯学習拠点であり、資料の収集・保存において他の実施主体はありません。また、読書や調査・学習施設としての役割も広く市民に理解され、日々利用者は増加していて、市民生活に密着した施設になっています。												
有効性	主要施策の目的において、図書館の設備、機能の充実が謳われており、その機能において他の生涯学習関連施設に重複するものではありません。また、図書館サービスの充実がそのまま利用者の増加につながるため、継続していく必要があります。												
達成度	開館時間は、県内でもトップクラスのサービスを展開しており、その影響で、登録率・回転率とも目標値をクリアし、今後も順調に利用が増えていくものと思えます。また、蔵書数については、購入・寄贈とも増加しています。												
効率性	現在の図書館運営システムは、最小のコストで最大の効果が得られるものになっており、他の実施手段よりも効率的です。												
当面の課題	川内分館がリニューアルしたことにより、利用者が倍増しており、利用者のニーズに沿った施設にすれば、利用が伸びることから、本館も築25年が経過し、最新の資料の提供方法や利用者のニーズに対応できていないこともあり、早急な大規模改修が必要です。												
改計画	図書館大規模改修についてタイミングを計って、実施していきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	図書館本館は、築25年が経過し、外壁や空調設備等を部分的に改修したもののエレベータや照明など内部設備の改善が必要ですが、耐震建築物ですので近々に改修することは難しいと思います。しかしエレベータの補修部品の供給ができなくなるなど、改修しなければならない要素もあるため、中長期計画の中で検討が必要です。												

No.	026	—	1020	事務事業名	おはなしボランティア育成事務	細事務事業名		公的関与	2				
PLAN	課名	図書館	係名	図書館係	電話番号	089-964-3414	メールアドレス	tosyo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 生涯学習社会の確立		主要施策	(6)関係団体等の育成				
	事業の対象	市内おはなしグループ会員・幼児の保育、教育に携わる職員				根拠法令							
	事業の目的	最終的	ボランティアの読み聞かせ活動の技術向上を図ることによって、子どもたちがおはなしに興味を持ち、子どもたちの自主的な読書活動の促進を図ります。			今年度							
	活動内容	①	読み聞かせ活動に携わる専門家を招き、研修の実施により、おはなし会運営の技術の向上を図ります。			④							
		②	おはなしボランティアの賛同者を増やし、活動の裾野を広げます。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		研修会の参加者数	研修会の周知度・興味度等のバロメータとなります。		人	目標	30	30	30	50			
実績			20	23									
おはなしボランティアの数		実際に活動する者の数の推移を見ることで事業の運営状況が把握できます。		人	目標	30	30	40	50				
		実績		30	30								
児童用資料の貸出冊数		子どもたちの読書活動の状況が把握できます。		冊	目標	70,000	70,000	70,000	100,000				
	実績		70,357	70,576									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費	平成 22 年度決算		平成 23 年度決算		平成 24 年度予算		備考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	13 千円		13 千円		13 千円						
		計(A)	13 千円		13 千円		13 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.002 人	15 千円	0.001 人	6 千円	0.001 人	6 千円					
		臨時職員工数・経費	0.001 人	2 千円	0.001 人	2 千円	0.001 人	2 千円					
	全体事業費(A+B)	30 千円		21 千円		21 千円							
一次評価者	図書館係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	乳幼児時期に本に親しむことが、その後の読書活動へも影響を与えることから、乳幼児におはなしの楽しさを伝えるおはなしボランティア等の技術の向上は欠かせないことであると考えます。												
有効性	研修会を開始して4年が経過し、おはなしボランティアグループ同士の関係も深まり始めており、有効な事業であると考えます。												
達成度	研修を受けることでしかりえなかった知識や、読み聞かせのコツを分かりやすく解説されており、おはなしボランティアの技術や知識は確実に伸びていると思われま。												
効率性	コストも講師謝礼のみであり、研修に必要な準備もおはなしグループと図書館とで連携を取りながらスムーズに進められております。												
当面の課題	ボランティアの数も参加者も微増で推移しています。極端な増加は見込めませんが、地道に活動することで賛同者が増えていくものと期待しています。												
改 革 画	おはなしボランティアと図書館職員が連携を深めていくことで、活動の幅が広がるのではないかと考えています。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	子どもの読書推進は、国策として進められており、東温市でも第2次子ども読書活動推進計画が策定されました。こうした読書推進のリーダー的な役割は、おはなしボランティアが中心となっており、その育成強化が必要になっています。今後は、図書館が中心になって、市内のおはなしボランティアをまとめていくためにも、こういう研修会が必要になるので、多くの参加者が集えるような研修会にしてください。												

No.	026	—	1021	事務事業名	移動図書館管理運営事業	細事務事業名		公的関与	7				
PLAN	課名	図書館	係名	図書館係	電話番号	089-964-3414	メールアドレス	tosyo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 生涯学習社会の確立		主要施策	(4) 学習情報提供・相談体制の整備				
	事業の対象	市民（中央図書館や分館を利用しにくい住民）				根拠法令							
	事業の目的	最終的	図書を通じてよりよい学習環境を提供することを目的とするとともに、移動図書館により図書館サービスを市内全域に提供することは、生涯学習の地域格差を解消するものです。			今年度	貸出利用者の増加に努めます。						
	活動内容	①	市内74ヶ所のステーションを巡回			④							
		②	資料(情報)の提供			⑤							
		③	資料(情報)の収集・保存・管理										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		貸出利用者数（移動図書館のみ）		全74ステーションの延べ利用者数		人	目標 10,000	10,000	10,000	15,000			
市内の移動図書館カバー率		ステーション設置要望に対する設置率		%	目標 100	100	100	100					
					実績 9,432	9,686							
					目標 100	100							
					実績 100	100							
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	11,439 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,255 千円	1,300 千円	1,388 千円								
		計(A)	12,694 千円	1,300 千円	1,388 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.047 人	354 千円	0.053 人	320 千円	0.053 人	321 千円					
		臨時職員工数・経費	1.000 人	1,702 千円	0.848 人	1,543 千円	0.848 人	1,589 千円					
	全体事業費(A+B)		14,750 千円		3,163 千円		3,298 千円						
一次評価者	図書館係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市民の学習環境を整備することは市が行う必要性の高い事業であり、市民の利便性向上に向け、必要な事業です。												
有効性	本事業は生涯学習の推進にとっても重要な事業であり、他市町に比べても充実した内容を少ないコストで実現しています。												
達成度	現在74ステーションを設置しており、設置要望に対する設置率は100%を達成しています。今後、設置要望が来た場合に備えて、体制を整備しておく必要があります。												
効率性	パート職員4人に移動図書館車の運転を依頼しており、各所を精力的に回ってもらい、利用者拡大につながっています。												
当面の課題	平成22年度において、宝くじ助成事業により、車両を更新し、積載冊数も増加したので、利用者も増加していくものと期待しています。(23年度2.6%増)												
改 革 計 画	地域格差解消のため、引き続き移動図書館の積極的な運営を図ります。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	車両を更新して、最初の一年が経過し、順調に利用者が増加しています。図書館サービスの格差を解消するツールとして、今後も必要であるので、現状を維持してください。												

No.	026	—	1030	事務事業名	川内分館管理運営事業	細事務事業名		公的関与	7				
PLAN	課名	図書館	係名	図書館係	電話番号	089-964-3414	メールアドレス	tosyo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	16年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 生涯学習社会の確立		主要施策	(4) 学習情報提供・相談体制の整備				
	事業の対象	市民他 (主に川内地区)				根拠法令							
	事業の目的	最終的	市民一人ひとりが生涯を通じて学びあい、自己を高め、充実した人生を送るとともにその成果がまちづくりに生かせるよう図書館施設・資料の充実を図ります。			今年度	貸出利用者の増加に努めます。						
	活動内容	①	資料(情報)の収集・保存・管理			④							
		②	資料(情報)の提供			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		貸出利用者数 (分館のみ)		川内分館の延べ利用者数		人	目標 10,000	10,000	10,000	15,000			
					実績 9,450	8,962							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	1,000千円	1,251千円	1,264千円								
	計(A)	1,000千円	1,251千円	1,264千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.269人	2,028千円	0.009人	54千円	0.009人	54千円					
		臨時職員工数・経費	0.913人	1,554千円	0.653人	1,188千円	0.653人	1,224千円					
	全体事業費(A+B)		4,582千円	2,494千円	2,542千円								
一次評価者	図書館係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市民の学習環境を整備することは市が行う必要性の高い事業であり、主に川内地区住民の利便性向上に向け、必要な事業です。												
有効性	本事業は生涯学習の推進にとっても重要な事業であり、他市町に比べても充実した内容を少ないコストで実現しています。												
達成度	平成20年度に川内公民館の耐震工事に併せて、川内分館も改修され、使いやすくなったため、着実に利用者が増加しており、目標を達成しています。												
効率性	図書館職員(臨時職員)を1名とし、土曜日・日曜日は、川内公民館職員が協力して、日直業務を行っているため、最小のコストでサービスの提供が行えています。												
当面の課題	川内分館は、施設整備ができたので、図書館サービスの充実が今後の利用促進に向けての課題です。具体的には、22条職員を図書館職員として配置していますが、嘱託司書を配置できれば、図書館サービスが充実し、市民サービスが向上すると思われます。												
改画	24年度末で、現在の臨時職員との契約が終了するため、嘱託司書の雇用も視野に入れ検討を行う必要があります。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	川内地区の図書館サービス拠点として、安定的に利用があるので、継続した取り組みを行ってください。嘱託司書の雇用については、サービスの更なる充実が見込めるため、必要と考えています。												